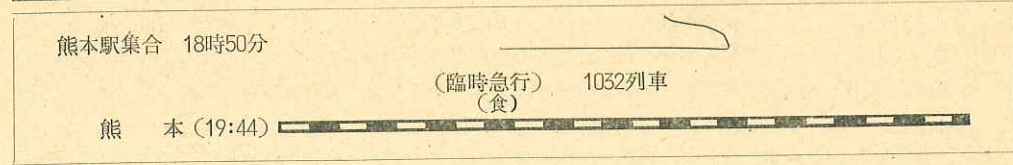


旅行行程表 (付見学箇所説明)

3月8日 (金曜日)



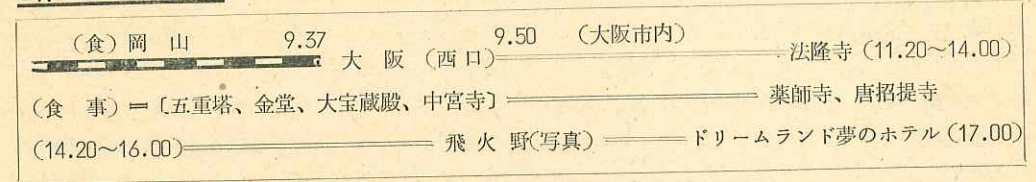
【食 事】 夕 食 (持 参)

【宿 泊】 車 中

(注意事項)

- ※ 集合時間を厳守し場所は駅に向つて右側とする
場所は女子商業高校共同一場所です
- ※ この臨時列車は、女学院と女子商業の2校で編制した臨時列車で熊本を出発して、熊本に着着するまで列車は、同一の物を使用する
又、列車では、学生としての待遇ではなく一般団体として取扱います

3月9日 (土曜日)



【食 事】 朝食、岡山駅にて 昼食、法隆寺前の休憩所

【宿 泊】 奈良、ドリームランド夢のホテル 奈良市、法蓮寺町 (2)8560

(注意事項)

- ※ 大阪駅は、西出口から駅前に出てバスプールへ
- ※ 九州女学院の乗るバスは、赤と白の京阪バスです、順序はバス乗車区分参照
- ※ 法隆寺に直行しますから、大阪市内は車内ですから眺めてください
- ※ 法隆寺は広い為、かならず一緒に活動すること
- ※ 奈良公園(飛火野)で鹿と写真を撮りますがその後、外の写真屋(現地の写真屋)には、写してもらわないこと
- ※ 夢のホテルは、ドリームランド正面に向つて右側にあります

法隆寺

日本文化のゆりかご、斑鳩（いかるが）の里、ここに法隆寺がある。聖徳太子が日本のために生涯をつくしたところ。ここで私どもは、飛鳥、白鳳、奈良の世界的文化財を見ることが出来る。

五重塔— よき安定感。各層の屋根の傾斜を、よくみておいて貰いたい。そして次にみる唐招提寺の金堂の屋根の傾斜と比較してほしい。記字くずしの勾欄（こうらん）。人字形の割づか。この塔の中に入ると、四面の区切りがあり、その一つ一つに仏の世界がある。その中には、乙女が可愛い姿で登場しているものもある。みな塑像（粘土作り）で奈良朝の作。見落したくないものである。

金堂— この内部の四面の壁には、世界三大壁画中の随一の傑作とされていた壁画が描かれていた。それが不幸、昭和24年の失火でもう見る事が出来ない。ボストンの博物館では、親日家で日本の美術を愛好し、深い理解を持っていたウオナア博士は、壁画の写真に喪章をつけて、焼失を深く悼んだ。京都と奈良が、この度の戦火に見舞われる事がなかつたのは、この人の大きな陰の力の努力によるものである。しかし、その人も、今はない。

金堂の釈迦三尊・薬師如来は、古式の笑いを浮かべた飛鳥の美である。須弥壇の四隅には、四天王があまのじやくをふまえて、かたくなつて立つている。

境内に立つて、金堂・五重塔・講堂の配置のよさをみる時、一つの安定感を感じる。

エンタンスの列柱の廻廊を通つて外に出て、これから夢殿へ行く。途中に池がある。そのほとりに子規の柿喰へばの句碑がある。

大宝蔵殿— 法隆寺の宝物殿である。

すらりと高く夢みるみ仏の百済観音。

小学校の教科書にも、のつている玉虫厨子。

台座の絵に注意。橘夫人念持仏。夢違い観音のきりつとした顔のほほえみ。九面観音のイヤリングの動き飛鳥・白鳳・奈良・藤原と国宝物の色々。

中宮寺— ここは尼寺である。きれいに掃き清められた境内。有名な如意輪観音がある。頬に中指をあててほほえんでいる。この姿を半跏思惟像という。飛鳥時代の作である。臉の陰で目をあらわした手法をみとりたい。くすの一本造りである。

和辻哲郎は「古寺巡礼」という本の中でこの仏様に、全く心うばわれている。

天寿国曼荼羅繡帳という最古の刺繍が残つてこの寺にある。

この刺繍の中の鐘樓の屋根と、宝物殿にある玉虫厨子の屋根とが同じ形である事は、制作年代をうかがう事が出来る。

みほとけのあごとひじとにあまでらの

あさのひかりのともしろさかも

会津八一

薬師寺

白鳳文化の寺。「凍れる音楽」といわれている、美しいリズムの三重の塔。モコシをつけて一見、六重にみえる。

ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲 佐々木 信 綱

塔の横にある東院堂には、白鳳の聖観音が一人で立っています。青年の姿である。傑作とされているが両脚の硬直さが、どうしてか気にかかる。

さて本堂の薬師三尊は、全く世界的逸品と言われている。とろりと黒光るブロンズの色。青年期から壮